

カリキュラム表 記載科目名	発行者 番号	発行者 略称	教科書 記号	教科書 番号	教科書名	採択理由
数学Ⅰ	104	数研	数Ⅰ	712	数学Ⅰ	数学Ⅰの学習内容が過不足なく盛り込まれており、数学的な基礎力を身につけるのに十分な問題数がある。加えて、解説は簡潔に要点がまとめられており、生徒が一人で読んでも十分理解できる内容となっている。
数学A	104	数研	数A	712	数学A	必要かつ十分な網羅性があり演習問題も豊富である。また、高度な内容については『研究』と『発展』にまとめてあり、教材として利用しやすい。さらに、習った内容についての課題学習が巻末に掲載されており、生徒自身による探求授業に有用である。
数学Ⅱ	104	数研	数Ⅱ	709	数学Ⅱ	基本レベルだけでなく、『研究』や『発展』のページには高度な内容も扱われ幅広い数学の知識を得ることができる。また、節末問題はその章の総復習として扱いやすく、章末問題は大学入試にも十分に対応できるレベルである。
数学B	104	数研	数B	710	数学B	系統的に考え、既習内容をもとに新しい内容へとスムーズに発展させたり深めたりするように考えて編集されている。また、文章や図・資料などから必要な情報を読み取れば、数学力が身につく内容になっている。考え方や理由などを説明しており、基礎・基本を身に着けるための問題も過不足なく出されている。基礎的な数学の理論についても系統立ててわかりやすく解説されている。
数学Ⅲ	104	数研	数Ⅲ	708	数学Ⅲ	数学Ⅲにおいても【例題】と【練習】の難易度のバランスが非常に良く、【練習】へのハードルが高いときは【問】を間に挟みステップアップを図っている。また、内容が精選されている中で、必要かつ重要事項は丁寧に解説が行われている。『研究』において、頻出の定積分についても扱われている。
数学C	104	数研	数C	708	数学C	ベクトル、複素数平面、2次曲線について基礎的な内容から発展的な内容まで豊富である。ベクトルでは空間直線の方程式や平面の方程式を扱っており、ベクトルが平面から空間への拡張に有用であることが理解できる。数学的な表現の工夫に行列を扱っているのも大きな特徴であり、数学的な興味、関心を持たせる工夫がなされている。